令和6年度第3回丸亀市eモニターアンケート集計結果

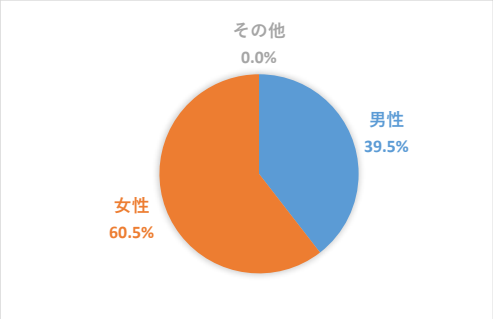
「インターネット上の誹謗中傷等について」

丸亀市では、広報紙をはじめホームページやＳＮＳを活用しながら、様々な人権問題に関する啓発活動を行っております。人権は尊重されなければならないですが、いまだ差別はあり、現在も問題として残っています。市民の皆さんの問題解決のために正しく理解することが大切であり、特に未来に託す子ども達には、正しく伝えていかなくてはなりません。
市からより効果的に市民の皆さんへ啓発を行えるよう、今回は、「インターネット上の誹謗・中傷等についてのアンケート」を実施します。
皆さんからのご意見は、今後の啓発活動の参考にさせていただきます。

アンケート実施期間：令和6年9月17日～令和6年9月30日
対象者数：272人（うち配信成功数　271人）
回答者数：200人

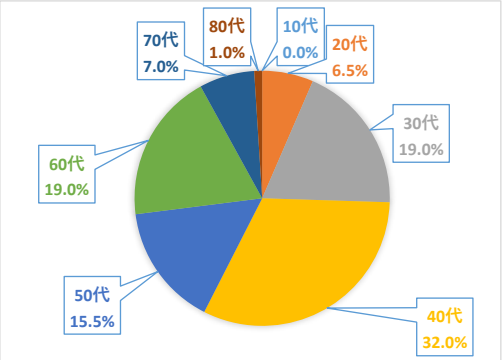
●回答者の性別

性別	人数(人)	割合(%)
男性	79	39.5
女性	121	60.5
その他	0	0.0
計	200	100.0



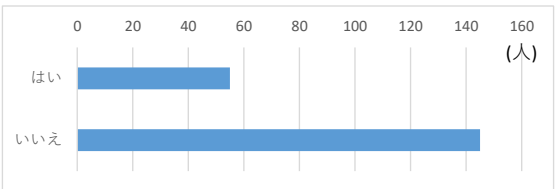
●回答者の年代

年代	人数(人)	割合(%)
10代	0	0.0
20代	13	6.5
30代	38	19.0
40代	64	32.0
50代	31	15.5
60代	38	19.0
70代	14	7.0
80代	2	1.0
計	200	100.0



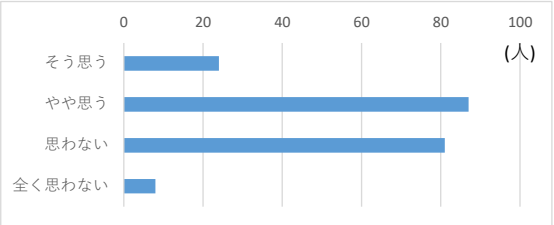
質問１　丸亀市では、人権尊重のまちづくりを目指して、「多様性条例」を制定しています。
「多様性条例」があることを知っていますか？

回答	人数(人)	割合(%)
はい	55	27.5
いいえ	145	72.5



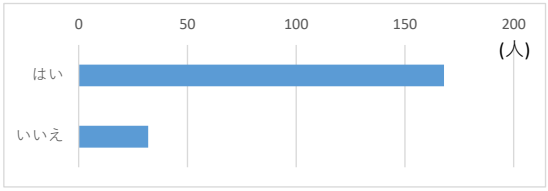
質問２　全ての人において、人権が尊重されている社会だと思いますか？

回答	人数(人)	割合(%)
そう思う	24	12.0
やや思う	87	43.5
思わない	81	40.5
全く思わない	8	4.0



質問３　人権を尊重することを普段から意識していますか？

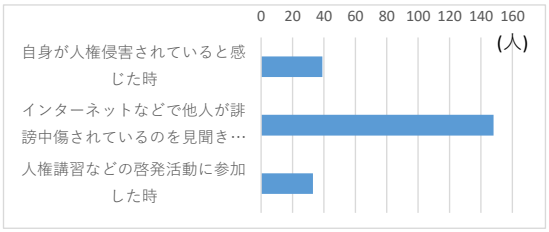
回答	人数(人)	割合(%)
はい	168	84.0
いいえ	32	16.0



はい　　→ 質問４へ
いいえ　　→ 質問５へ

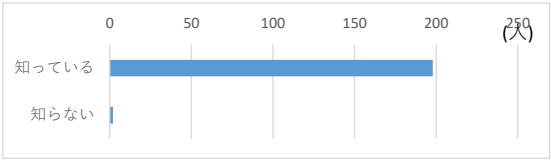
質問４　人権について意識するときはどんな時ですか？（複数回答可）

回答	人数(人)	割合(%)
自身が人権侵害されていると感じた時	39	17.7
インターネットなどで他人が誹謗中傷されているのを見聞きした時	148	67.3
人権講習などの啓発活動に参加した時	33	15.0



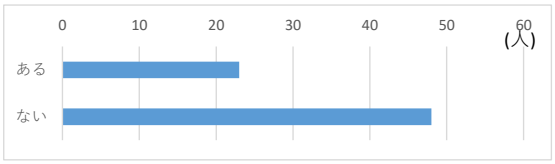
質問５　SNSなどインターネット上での誹謗中傷等の人権にかかわる様々な問題が発生し、深刻な社会問題になっているのを知っていますか？

回答	人数(人)	割合(%)
知っている	198	99.0
知らない	2	1.0



質問６　インターネット上での人権にかかわる問題発言などを見たり聞いたりしたことがありますか？

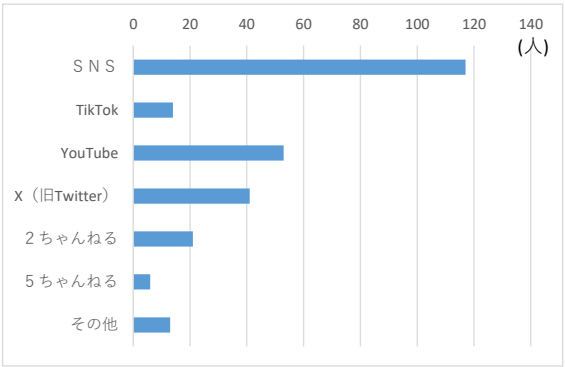
回答	人数(人)	割合(%)
ある	23	32.4
ない	48	67.6



はい　　→ 質問７へ
いいえ　　→ 質問９へ

質問７　どのような媒体で見たことがありますか？（複数回答可）

回答	人数(人)	割合(%)
ＳＮＳ	117	44.2
TikTok	14	5.3
YouTube	53	20.0
X（旧Twitter）	41	15.5
２ちゃんねる	21	7.9
５ちゃんねる	6	2.3
その他	13	4.9

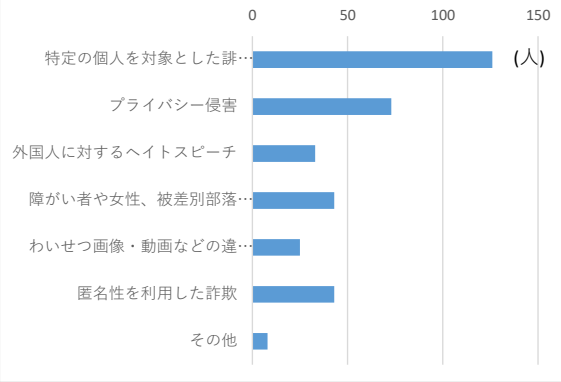


「その他」の場合、具体的にご記入ください。

新聞・テレビ放送
マスコミ全般。いじめはダメと言いながらマスコミがいじめ体質だと思う。
インターネットニュースのコメント欄で見かけました
Instagram．Facebook
話題の人(有名人)のあること無いことや家族のスキャンダルや親類の行動非難
爆サイ、GoogleMAP評価

質問８　どのような内容でしたか？（複数回答可）

回答	人数(人)	割合(%)
特定の個人を対象とした誹謗・中傷	126	35.9
プライバシー侵害	73	20.8
外国人に対するヘイトスピーチ	33	9.4
障がい者や女性、被差別部落に関する差別的な表現	43	12.3
わいせつ画像・動画などの違法掲載	25	7.1
匿名性を利用した詐欺	43	12.3
その他	8	2.3

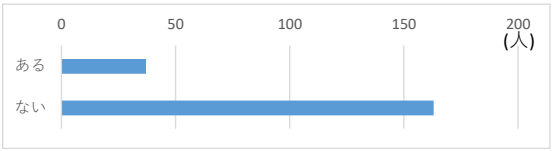


「その他」の場合、具体的にご記入ください。

LGBTQを含む性差別、子どもがいる人,いない人,持たないと決めている人に対する偏見、高齢出産への偏見
新商品を出したというニュースで、販売者の見た目をけなすようなマイナスなコメントをしている人を見かけました。
一方的な意見だけで、双方の意見を検証することをしない報道 メディアを使っての悪意ある印象操作 インフルエンサーを使っての信憑性のない事案の拡散
身体的特徴や、学歴、収入、職種の揶揄
嫌いと書込みをしている人がいた。
男性に関する差別的な表現
中国人のマナーの悪さ、全ての中国人が悪いような批判投稿
インスタグラムでのコメントなどで、アラビア語などの日本人には一見分かりにくい言葉で誹謗中傷されたことがあります。

質問９　インターネット上で同和問題に関する差別を見たことがありますか？

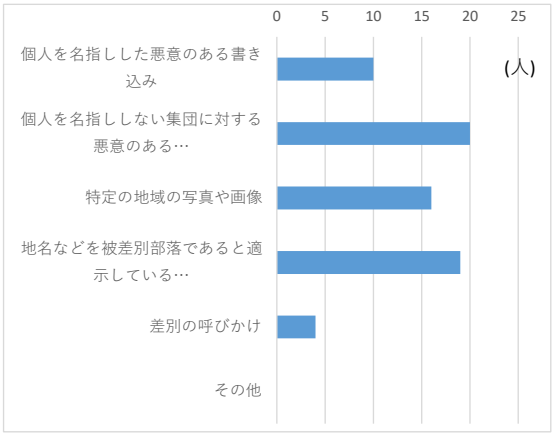
回答	人数(人)	割合(%)
ある	37	18.5
ない	163	81.5



ある　　→ 質問10へ
ない　　→ 質問11へ

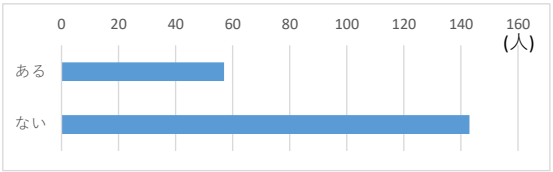
質問10　どのような内容でしたか？（複数回答可）

回答	人数(人)	割合(%)
個人を名指しした悪意のある書き込み	10	14.5
個人を名指ししない集団に対する悪意のある書き込み	20	29.0
特定の地域の写真や画像	16	23.2
地名などを被差別部落であると適示している書き込み	19	27.5
差別の呼びかけ	4	5.8
その他	0	0.0



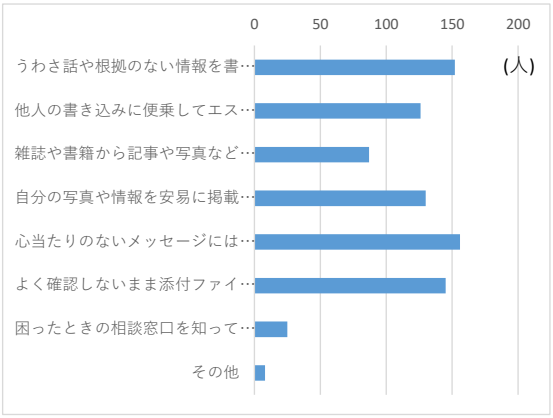
質問11　インターネットやSNS等で同和問題解消のための啓発に関する記事や動画を見たり聞いたりしたことがありますか？

回答	人数(人)	割合(%)
ある	57	28.5
ない	143	71.5



質問12　インターネットを利用する上で、どのようなことに注意していますか？（複数回答可）

回答	人数(人)	割合(%)
うわさ話や根拠のない情報を書き込まない	152	18.3
他人の書き込みに便乗してエスカレートさせる書き込みはしない	126	15.2
雑誌や書籍から記事や写真など無断で掲載しない	87	10.5
自分の写真や情報を安易に掲載しない	130	15.7
心当たりのないメッセージには返信しない	156	18.8
よく確認しないまま添付ファイルを開かない	145	17.5
困ったときの相談窓口を知っておく	25	3.0
その他	8	1.0

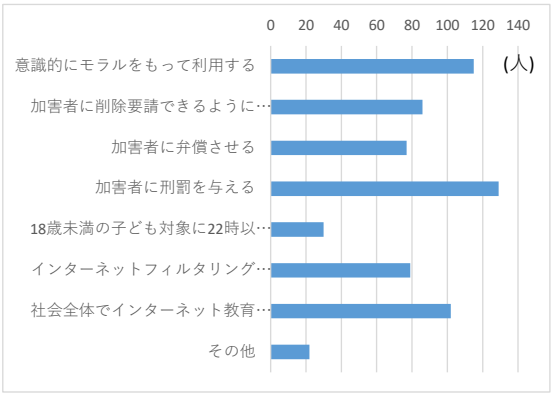


「その他」の場合、具体的にご記入ください。

偏った意見に流されない
誹謗中傷されている人に向けて応援メッセージを書き込みました
信頼できる理論的、科学的な情報源を複数確保する
書き込みはしない。
私自身、不特定多数への書き込みは一切したことはありませんし、今後もすることはありません。
インスタやXなどは見るだけでやらないのはもちろん、書き込みは一切しない。
自分の子供や知っている人に人権について話したりする
人権問題のみならず、ネット情報にはほんとと嘘が混在するので、個人の意見は投稿しない

質問13　インターネット上の誹謗中傷等はどうすればなくなると思いますか？（複数回答可）

回答	人数(人)	割合(%)
意識的にモラルをもって利用する	115	18.0
加害者に削除要請できるようにする	86	13.4
加害者に弁償させる	77	12.0
加害者に刑罰を与える	129	20.2
18歳未満の子ども対象に22時以降はインターネットを	30	4.7
インターネットフィルタリングの義務化	79	12.3
社会全体でインターネット教育を徹底する	102	15.9
その他	22	3.4



「その他」の場合、具体的にご記入ください。

同和問題は重要だが、ジェンダー平等など一部では声の大きな意見があたかも社会的に総意であるかのような意見も聞く。声なき意見もしっかりと把握し、冷静にかつ未来的な議論により問題が解決されることが重要だと思います。子どもの頃からの教育をしっかり行う事が大切です。
ある程度は教育で良い方向に向く可能性はあるが結局解決しない。全てにおいて人権はあるが、平等はないではないと教えることも大事ではないかと思う。
なぜ問題なのかを繰り返しメッセージを提示する（誹謗中傷することで、大切な家族の1人の命が消えてしまうこともあるということなど）
メディア、新聞などで信憑性のない記事を垂れ流しにしない。SNS などのアカウント開示を容易にする。
SNS上での誹謗中傷被害で開示請求を行ったケースを複数観測しましたが、経済的に余裕のない人々と、社会的役割を失っている人々によるものが多い印象でした。
無記名だから、良くない文章で相手を攻撃することは必至なので、名前のないものはそもそも載せることができないようにする。つまり、投稿するにも責任を持たせる必要があると思います。
発信者の透明性を明確にする。
匿名でネット上への書き込みができるようになって、何か自分が偉くなったり、世の中を代表しているような気になったりするなど、大きな錯覚を起こしているのだと思います。オリンピック選手への誹謗中傷などはその最たるものだと思います。いったい何様のつもりで批判しているのでしょうか？負けた選手や少しマナーに問題がある選手などに対して、人それぞれに思うところはあって当然ですが、それはあくまで自分だけに留めておくべきで、不特定多数の人々に拡散するべきものではないと思います。今回のアンケートは回答するのが非常に重い問題でした。今後ますます現在の傾向が強まっていくことが、懸念されます。それを防ぐために行政としてできることを地道に続けていただきたいと思います。

真実性のない週刊誌記事や噂をあたかも真実のように拡散しない。法治国家であることを前提とした行動をとる。
軽い気持ちでみんな書き込む、刑罰はいやだが、そうでもしなきゃまとまらない
どういった人がどういった内容の誹謗中傷の書き込みをしているのかデータを集める。そのデータをもとに必要なアプローチを検討する必要があると思う。
加害者の厳罰化
どのように規制をしても 利用者側のモラルが一番。インターネット利用者自身の性善説を願うしかない。基本は 匿名ではなく 実名での投稿をするといいと感じる。主張するなら その主張に責任もって主張して欲しい。主張する権利を行使するならば それに対する責任の義務は背中合わせだと思う。権利には 必ず義務がついてくるものと 常日頃思っている。
どこまでが誹謗中傷に当たるのかは分からないが、施策についての批判は公職にあるものは受けるべきです。
匿名性の排除が重要
投稿内容で誹謗中傷にあたる内容だとAIが判断したら、投稿できない仕組みにする。
なくならない
匿名性をなくす
子どものインターネット利用について、様々な制限をかけた方がいいのではないかと思うものの、もはや世の中全体がインターネット無しでは現状の生活が成り立たず、そういった雰囲気ではないだけに、排除や制限をかけたからといって良くなるものではない。いまや大人でさえも待ち時間にスマートフォンを触って時間を過ごしているのだから、子どもなら尚のこと。しかしながら、少なからずスマートフォンから距離を置きたいと思っている人もいるのではないかと思っている。そんな人のために、例えば、マルタス等で本や勉強・作業に集中したい人のためにスマホ禁止エリアを作る、広報等でインターネットとの適度な接し方について記事にする等、自らの意思でインターネット依存になりたくない人向けのアプローチをしてみてもよいかもしれない。
なくならないと思う。誹謗中傷は暇人の暇つぶしのようなものと、某TVで見たが本当にその通りだと思う。貧富の差が広がる日本で心がどんどん貧しい人も増えている現状でなくなるわけがない。
投稿するなら、自分の身分を明らかにして、投稿には全責任を負うようにすべき、それが嫌なら投稿しない。